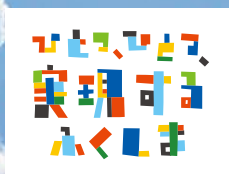




FUKUSHIMA
AIRPORT



福島空港



福島空港のあゆみ

福島空港は、須賀川市と石川郡玉川村にまたがる阿武隈山系の丘陵地に、平成5年3月20日に県管理空港（滑走路長2,000m）として開港しました。

その後、将来の国際線需要の増加や国際化に向け、大型航空機が就航できるよう、滑走路延長を2,500mに拡張し、平成12年7月13日に全面供用を開始しました。

開港当初は札幌便、名古屋便、大阪便の3路線でスタートし、その後福島空港の国際化も進展し、平成11年6月に中国（上海）と韓国（ソウル）との間に国際定期便が開設されました。

（※上海、ソウル路線は、東日本大震災の影響により運休中）

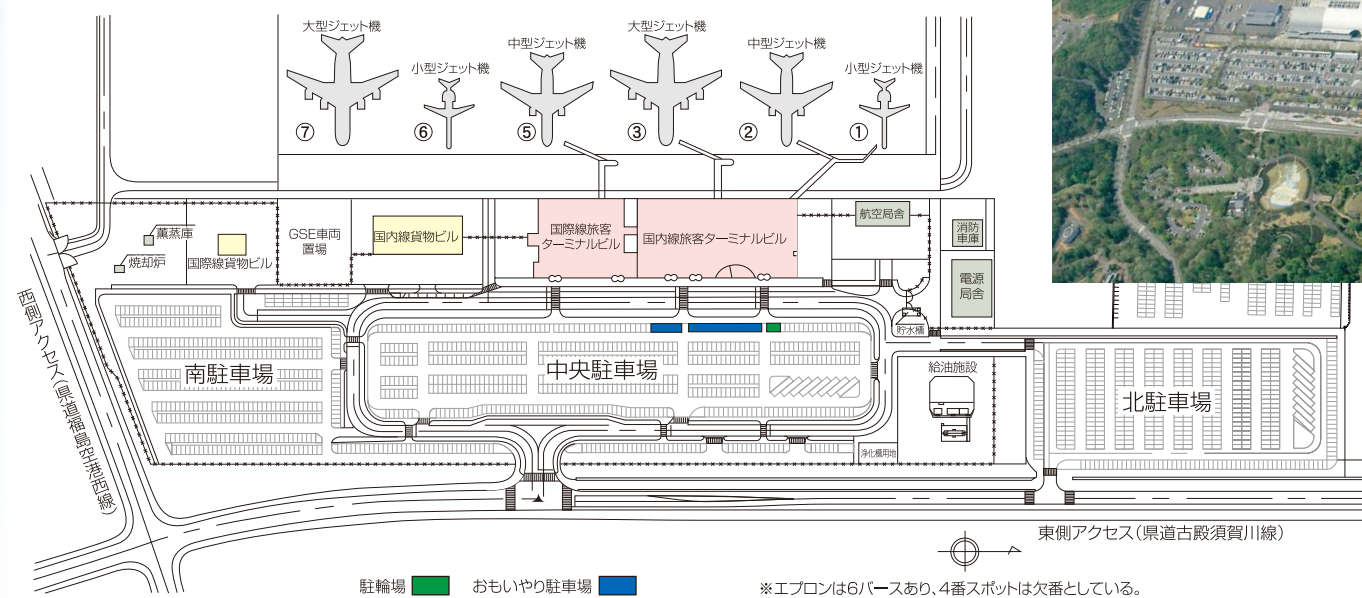
現在、定期便は札幌、大阪の2路線で国内線及び国際線のチャーター便誘致など利用者の増加を目指しております。



昭和52年12月	「福島県長期総合計画」を策定し、この中で『航空運輸の需要増大に対処し関係施設の設置を検討する』こととされた。	平成7年3月16日	飛行場施設変更許可（滑走路2,500m）を申請
昭和55年10月	空港適地選定に着手	6月22日	飛行場施設変更の許可
昭和57年2月1日	福島空港の候補地区を「須賀川東地区」に決定	6月29日	航空法第40条に基づく福島空港の告示
昭和61年6月13日	飛行場設置許可を申請	7月22日	帯広便開設（平成13年3月路線休止）
9月20日	航空法第38条に基づく福島空港の設置許可	11月13日	滑走路2,500m拡張工事の起工式
9月25日	空港法第40条に基づく福島空港の告示	平成9年8月15日	日中航空当局間協議において福島空港を中国の新規乗り入れ地点とすることを合意
10月11日	福島空港の政令指定	平成10年6月17日	国際線旅客ターミナル着工
11月28日	福島空港の整備を盛り込んだ第5次空港整備五箇年計画が閣議で決定	12月3日	福島空港2,500m滑走路暫定使用開始
昭和62年4月1日	「福島県空港建設事務所」を開設	平成11年1月21日	日韓航空当局間協議において新規路線として福島～ソウル路線を追加することを合意
昭和63年9月14日	福島空港起工式	5月31日	国際線旅客ターミナルビル開館
平成2年4月26日	福島空港ビル株式会社設立	6月17日	中国（上海）との国際定期路線開設
平成3年11月29日	「福島空港の滑走路2,500mへの延長」を盛り込んだ第6次空港整備五箇年計画が閣議決定	6月22日	韓国（ソウル）との国際定期路線開設
平成4年10月1日	「東京航空局福島空港出張所」、「福島地方気象台福島空港出張所」、「福島空港管理事務所」を開設	平成12年4月1日	「福島県福島空港管理事務所」と「福島県空港建設事務所」を統合「福島県福島空港事務所」となる
平成5年2月1日	福島空港管理事務所を福島空港ターミナルビル内に移転	7月13日	福島空港2,500m滑走路全面供用開始
2月4日	供用開始告示	平成13年4月1日	広島路線開設（平成14年3月路線休止）
3月20日	福島空港開港 運用時間（8:30～20:00 11.5時間） 札幌、名古屋（平成15年3月路線休止）、 大阪路線開設	平成17年2月17日	名古屋路線再開（平成19年11月路線休止）
平成5年5月1日	福岡路線開設（平成18年3月路線休止）	平成20年3月13日	取付誘導路（訓練用）供用開始
平成6年6月1日	函館路線開設（平成14年11月路線休止）	6月5日	滑走路警戒灯供用開始
9月4日	沖縄路線開設（平成21年1月路線休止）	平成21年2月1日	日本航空撤退（大阪路線、沖縄路線）
		平成23年3月11日	東日本大震災
		平成24年2月19日	利用者数1,000万人突破
		平成27年12月19日	国内線利用者数1,000万人突破
		平成28年3月27日	運用時間延長（8:00～21:00 13時間）
		令和2年	滑走路端安全区域（RESA）整備事業着手（01側）
		令和5年3月20日	開港30周年

福島空港の概要

空港ターミナル地域平面図



施設概要

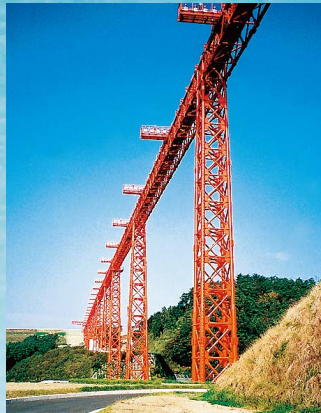
項目	状況	項目	状況	項目	状況
①飛行場の 名称、位置、種類 名称 位置 種類	福島空港(地方管理空港) 福島県須賀川市・石川郡玉川村 陸上空港等	⑥計器着陸又は 夜間着陸の 用に供するか 否かの別	計器着陸(ILS、CAT-I)及び 夜間着陸の用に供する	エプロン	面積 47,250㎡ L=135m、W=350m 舗装種別 コンクリート舗装 バース数 6バース 大型ジェット機:2バース 中型ジェット機:2バース 小型ジェット機:2バース
②設置者 及び管理者	福島県 福島県福島市杉妻町2番16号	⑦制限表面	進入区域の長さ 3,000m 進入表面の勾配 50分の1 水平表面の半径 3,500m 転移表面の勾配 7分の1	場周・保安道路 場周柵 排水施設 飛行場標識	8.1km 12.4km 42.6km 防災調整池 6基 1基
③標点の 位置、標高 標点 標点の位置 標高	北緯37度13分39秒 東経140度25分41秒 福島県石川郡玉川村大字 北須釜字懸金沢16番地 372.0m	⑧飛行場の施設 敷地 着陸帯 滑走路	面積 1,807,306㎡ 長さ 2,620m 幅 300m 長さ 2,500m 幅 60m 真方位 北02度11分57秒東 磁方位 北09度01分57秒東 舗装種別 アスファルト舗装	⑨駐車場の駐車台数 乗用車 (内おもいやり駐車場) バス タクシー ※駐輪場有り	1,612台 1,564台 (17台) 16台 32台 (仮設含み2,300台)
④着陸帯の等級 舗装体の設計強度	B級 LA-1 単車輪荷重 43t	誘導路	総延長 3,637m (防災ヘリ用89m、訓練用49m含む) 幅 平行誘導路:30m 取付誘導路:中間34m、末端32m 舗装種別 アスファルト舗装	⑩供用開始日	平成12年7月13日
⑤就航可能な 航空機の種類	ボーイング式747・777・767型 エアバス・インダストリー式A320 ダグラス式DC-10			⑪運用時間	13時間00分 (8時00分～21時00分)

写真で見る福島空港の設備

国の施設

県の施設

民間の施設



標準式進入灯(PALS)

精密進入によって着陸しようとする航空機に、その最終進入の経路を示すための灯火です。L=780m



除雪車庫

滑走路、誘導路、エプロン等の雪氷を除去する機械を格納しておく建物で、ロータリー車2台、スノーパー車5台、プラウ4台、凍結防止剤散布車2台の計13台を配備しています。



グライドスロープ(GS)

着陸のため進入中の航空機に対し適切な進入角を電波によって示す装置です。

T-DME

着陸のため進入中の航空機に対し接地点からの距離を示す装置です。



RVR観測装置

投光部及び受光部からなり、大気の見通し度を測定して、滑走路中心線上の航空機の操縦席から灯火等を見ることが出来る最大距離を求めるために用いる装置です。



管制塔

航空機の運航管理、国内航空通信、航空交通管制及び気象情報提供などを行う施設です。



ローカライザー(LOC)

着陸のため進入中の航空機に対して滑走路中心の左右のずれを電波によって示す装置です。



簡易式進入灯(SALS)

非精密進入によって着陸しようとする航空機に、その最終進入の経路を示すための灯火です。L=153m



風向風速計

航空機離着陸付近の風向・風速を観測する装置です。



露場・雲高観測装置

気温・露点温度・降水量及び雲低の高さを測定する装置です。



駐車場(無料)

乗用車1,564台、バス16台、タクシー32台が駐車できます。(北駐車場(臨時)、南側仮設駐車場を含め、全体で2,300台収容)



資器材倉庫

草刈機械などの倉庫です。



民間航空機操縦訓練施設

パイロットの養成を目的とした訓練施設です。



消防防災航空センター

福島県消防防災ヘリコプターの基地です。



消防車庫

航空機に事故・火災が発生したとき、これを消火する車輛を格納しておく建物で、大型化学消防車(12,500ℓ1台)(10,500ℓ1台)(6,100ℓ1台)と給水車(8,000ℓ1台)、医療用搬送車(1台)を配備しています。



電源局舎

航空灯火に給電するための電源設備を収容する建物で、停電時に給電可能な発動発電機等も装備しています。



VOR/DME

飛行中の航空機に方向と距離を知らせる施設です。



給油施設(POL)

航空機に給油するジェット燃料を扱っており、200kℓタンク1基を有しています。



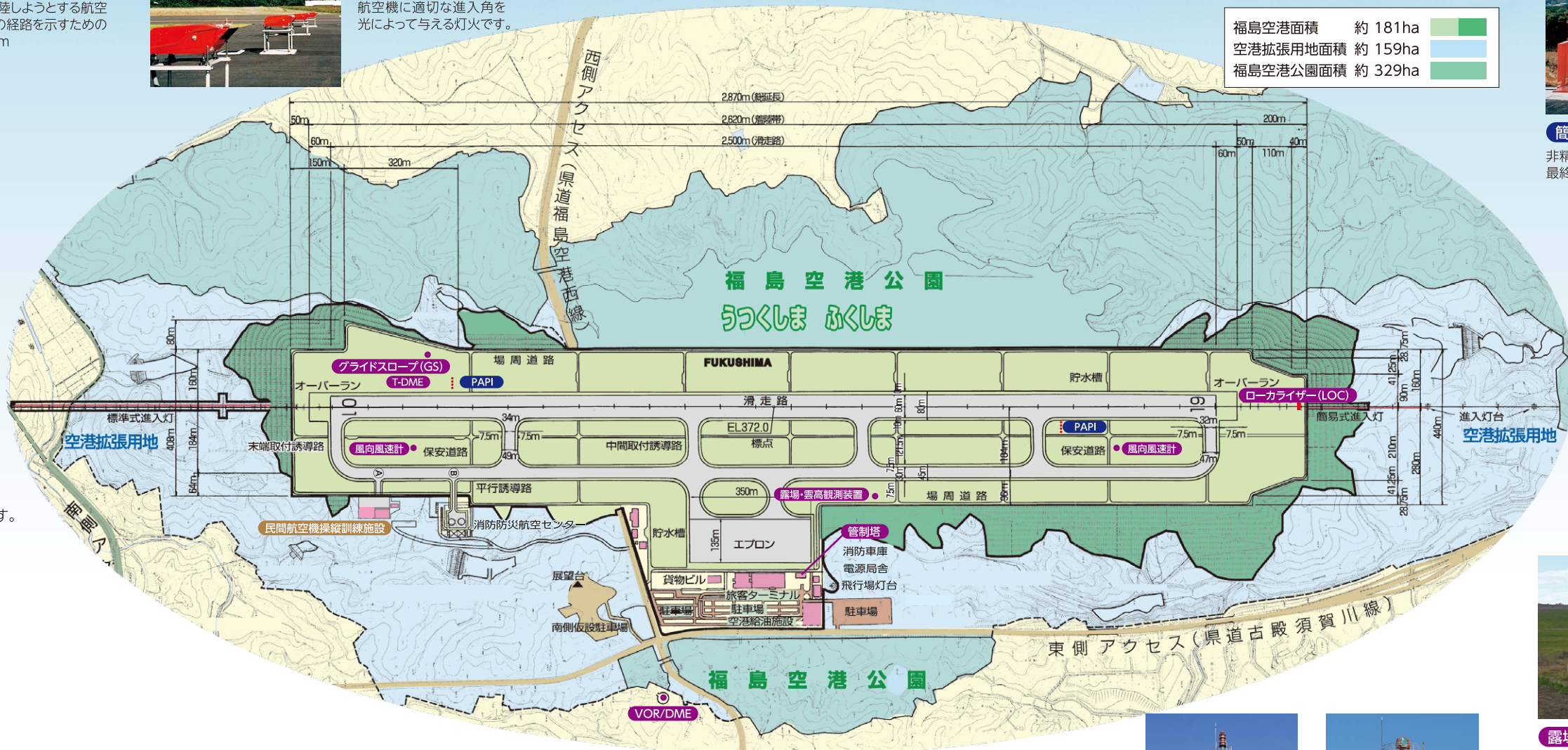
航空障害灯(OBL)

水平表面から突出している地形の位置を示すための灯火です。(場外)



飛行場灯台(ABN)

飛行中の航空機に飛行場の位置を示すための灯火です。



より安全で、快適な空港をめざして

航空機が安全に定刻どおりに離着陸できるよう、冬期間における滑走路の除雪作業や春先からの草刈作業など空港の維持管理を行っています。

また、いざという時に備えた各種訓練の実施や一般の方に空港をもっと理解してもらうため、春の「空港まつり」や秋の「空の日フェスティバル」などのイベントを開催しPR等に努めています。

1

空港の維持管理



滑走路のパトロール



航空灯火の点検



空港内の草刈



滑走路等の除雪

2

空港の安全対策



消火救難総合訓練



航空機不法奪取事件対応訓練

3

地域との交流



「空の日」フェスティバル



春の空港まつり

4

大規模災害対応



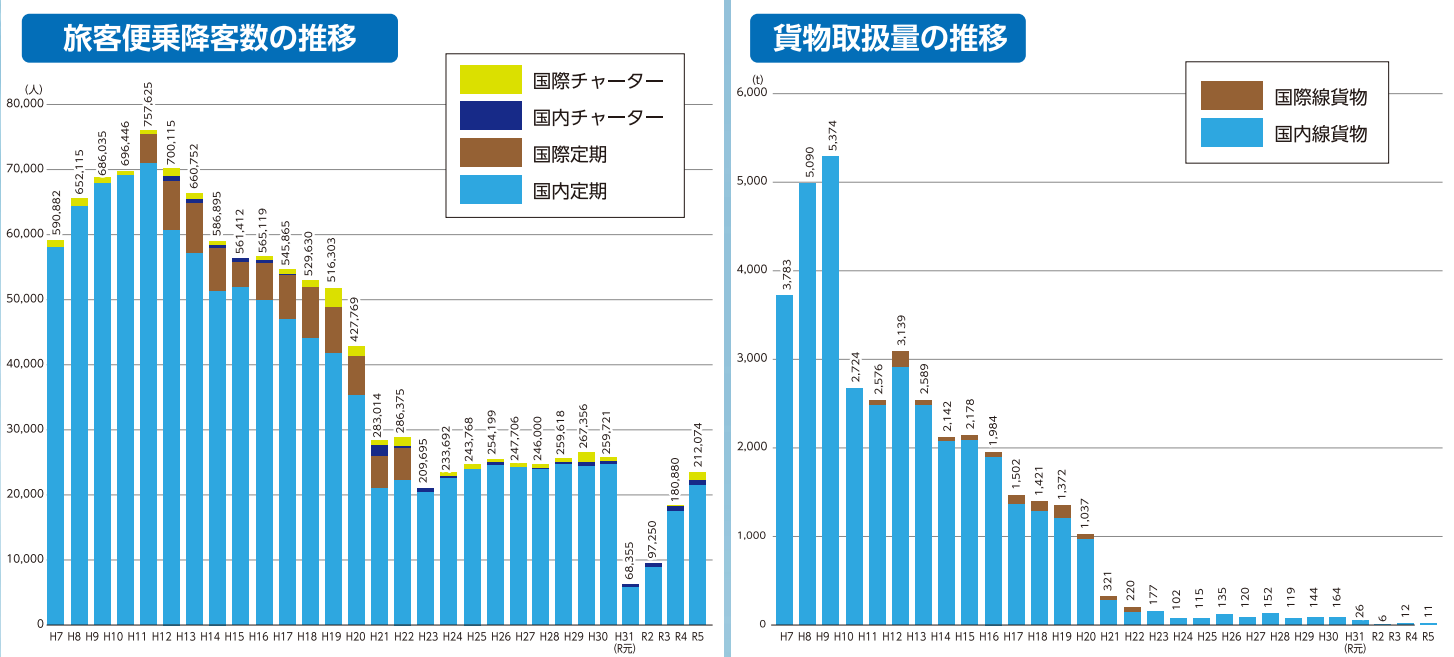
自衛隊による物資輸送



災害派遣医療チーム(DMAT)の活動拠点設営

福島空港利用状況

旅客便乗降客数・貨物取扱量の推移



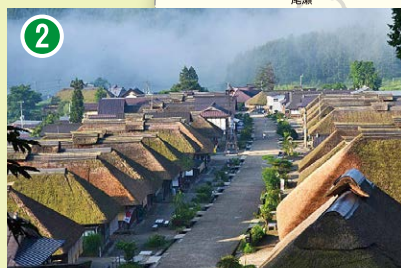
福島空港の航空路線



福島空港へのアクセス道路網



鶴ヶ城



大内宿



福島空港までの所要時間

福島飯坂IC / 約60分	南会津町 / 約105分	南相馬IC / 約120分
福島西IC / 約55分	那須IC / 約40分	いわき中央IC / 約55分
二本松IC / 約45分	宇都宮IC / 約70分	日立市 / 約95分
会津若松IC / 約65分	相馬IC / 約130分	水戸市 / 約125分

乗合タクシー(※予約制)

約75分	福島市
約40分	白河市
約80分	会津若松市
約80分	いわき市
約150分	相馬市
約80分	那須塩原市
約130分	日光市・宇都宮市
約130分	北茨城市・高萩市・日立市

バス運行路線

いわき	約90分 (高速バス)
郡山	約45分 (リムジンバス)
会津若松	約80分 (高速バス)

※1名から利用可。利用前日までの事前予約。予約受付 福島空港構内タクシー協議会 TEL0248-72-9009
※土、日、祝日及び8/13~15、12/31~1/3の予約受付業務を休業。

福島空港周辺マップ



※鏡石スマートICの利用時間は6:00~22:00となります。



福島空港

福島県土木部港湾課空港施設室
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
TEL 024-521-7501(直) FAX 024-521-7913



誰にでも親しまれている飛行機をモチーフに、より親しまれ愛される空港を目指して福島空港シンボルマークを設定しました。福島県民に馴染みの深いふくしまイメージデザインに指定色として採用されている黄・赤・青の3色と直線のみで構成された紙飛行機の飛んでいる様子が福島空港の発展性及び将来性を表しています。

福島県福島空港事務所

〒963-6304 福島県石川郡玉川村大字北須釜ハバキ田21番地
TEL 0247-57-1111(代) FAX 0247-57-1257
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41410a/>

○本リーフレットに対するご意見、ご希望がございましたら、上記までご連絡願います。



再生紙使用



この印刷物は、植物油を主成分としたベジタブルオイルインキを使用しております。